



最新情報は、HPをご覧ください

発行・編集 旭川市庁舎建設課
公共建築課
tel:25-7597

choshakansetsu@city.asahikawa.lg.jp

旭川市役所は、令和5年度に新庁舎へと生まれ変わります

市民の皆さんの暮らしを支える新しい庁舎の建設工事に関する情報を「新庁舎建設NEWS」として皆さんにお伝えしていきます。

工事の進捗



令和2年度		令和3年度 <small>いまココ</small>		令和4年度		令和5年度	
杭工事・掘削工事	基礎工事・地下躯体※工事	地上躯体※工事	(冬期休止)	内部・外部仕上工事		検査・調整	令和5年11月オープン予定

※ 躯体(くたい)とは、柱、壁、梁、床など建物を支える骨組みのことです。

8月



8・9月は、主に6階、7階部分の鉄骨の組立てと床の鉄筋コンクリート工事を行っており、9月末からはついに鉄骨組立ての最終段階となる8階、9階部分を組み始めています。

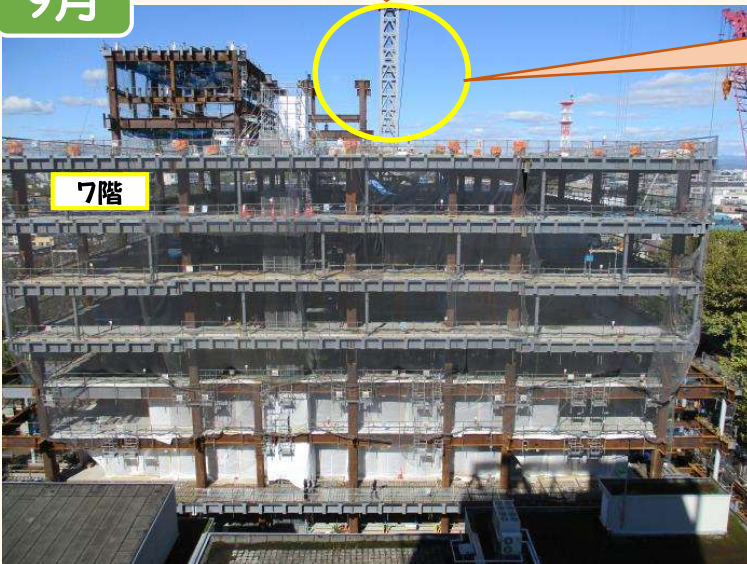
また、火災時に鉄骨造の柱・梁の骨組みを熱から守るため、耐火塗料やロックウールで覆う耐火被覆(たいかひふく)という作業も低層階から進めています。

8月末



マストをつけ足し、自力で上ります

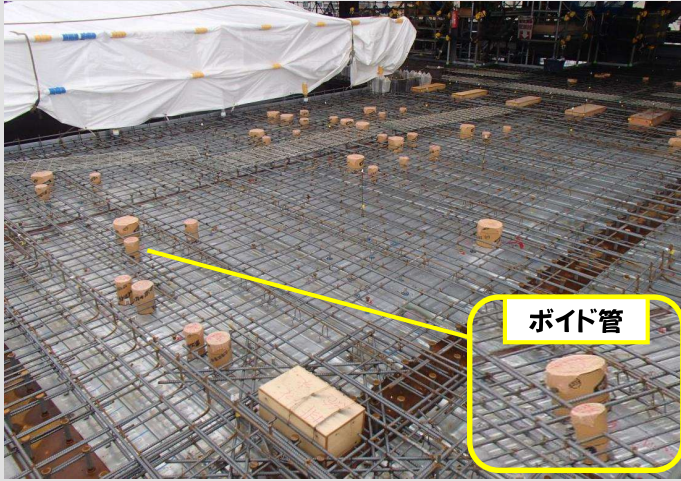
9月



7階まで鉄骨が組み上がった後、タワークレーンを12m高くしました。運転室の高さが地上約53mとなり、このまま来年の夏まで、鉄骨の組み立てや外壁の取り付けなどに活躍します。

工事現場日記

令和3年8月19日(木)



コンクリート打設前のトイレの床の状況です。便器の排水管等が床を貫通する場所は、紙製の筒(ポイド管)でコンクリートをせき止め穴を開けておきます。

令和3年8月19日(木)



6階床のコンクリートを打設しています。地上から圧力をかけて送られるコンクリートのホースを全身で押さえつけコントロールしています。

令和3年8月21日(土)



固まってきたコンクリートに散水しています。コンクリートが所定の強度になるためには、水分が必要なため、表面を湿潤状態に保ちます。

令和3年9月15日(水)



3階の柱・梁に耐火被覆材のロックウールを吹き付けています。これにより、火災時に熱で柱・梁が変形し建物が倒壊するのを防ぎます。

新庁舎の構造形式について

構造形式には、柱や梁などの骨組を堅固につくり地震の力に耐える「耐震構造」、地震の力を吸収し揺れを抑制する「制震構造」、地震の力を建物に伝えにくくする「免震構造」があります。

新庁舎では、最も一般的で実績も多く、工期が短く低コストな「耐震構造」を採用しています。

しかし、耐震構造には他の構造と比べ揺れが長く続くというデメリットがあるため、地震のエネルギーを吸収するオイルダンパーを一部に設置し、揺れを早く収束させます。

